

ニュース和歌山 2020年12月19日号の
「おしえて！マイドクター Q&A」に掲載。

Q

35歳女性。手首にシコリができ、「ガングリオン」といわれました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ
テーション病院

手・足の外科センター

整形外科専門医 手外科専門医

谷口 泰徳副院長・センター長

A

手首にシコリができて大変ですね。この「ガングリオン」は、

腫瘍の中にゼリー状の液体がたまる病気です。できやすい場所は、手首のコウ、手のヒラ、指の付け根などです。大きさはコメ粒大からピンポン玉ぐらいです。腫瘍は大きくなったり、小さくなったりしますが、手を使いすぎると大きくなります。女性に多い傾向があります。

症状は、通常は少し不快感があります。痛みはありません。腫瘍が大きくなると神経を圧迫して痛みやしびれ、関節の運動障害を起こすことがあります。

腫瘍を注射器で刺して、内容物がゼリー状ならガングリオンと診断されます。シコリの大きさや体内での深さを確認するために、MRI検査や超音波検査を行います。

大きくなるものは治療が必要で、注射器でゼリー状の中身を吸引します。注射器での吸引を繰り返してもゼリー状の内容物がたまる時は、手術による摘出術が必要です。ガングリオンは手首の深部から発生していることが多く、慎重に摘出しないと、手術をしても再発することがあります。そのため手術は、経験豊富な手外科専門医の先生にお願いした方がいいですね。

ニュース和歌山 2024年5月25日号の 「おしえて!マイドクターQ&A」に掲載。

Q

山でミカン栽培をしています。足指にガングリオンができました。



社会医療法人三車会
公式キャラクター
みくまくん

《回答者》

◆整形外科

貴志川リハビリ

テーション病院

手外科専門医・足の外科認定医

整形外科専門医

谷口 泰徳 副院長

A

ガングリオンは腫瘍の中にゼリー状の液体がたまる病気で、腫瘍を注射器で刺して、内容物がゼリー状ならガン

ると繰り返しの歩行により、大きくなった腫瘍の皮膚が薄くなり破れて、ゼリー状の液体が足の親指から流れ出てくることがあります。

グリオンと診断されます。腫瘍のできやすい所は手首の甲、指の付け根などで、手を使い過ぎると大きくなる傾向があります。稀に足にもできることがあります。この方のようにミカンの栽培や収穫のため段々畑の山道を繰り返し歩くことにより足の親指に負担がかかり、ガングリオンができることがあります。腫瘍は大きくなったり、小さくなったりします。通常は不快感がありますが、痛みはありません。足の親指にでき

治療はガングリオンの大きさや体内での深さを確認するために、MRI検査や超音波検査を行います。注射器でゼリー状の中身を吸引します。注射器での吸引を繰り返しても内容物がたまる時は、手術による摘出が必要です。足のガングリオンは深部から発生していることが多く、全身麻酔で慎重に摘出しないと手術を行っても再発する恐れがあります。そのため治療は足の外科の専門医の先生にご相談ください。